

# 運用報告書（全体版）

## 第4期

（決算日：2021年4月26日）

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2027年4月26日まで（設定日：2017年4月27日）
運用方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主要運用対象	日本を含むアジアの金融商品取引所に上場する株式等（準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合は、30%を上限とします。
分配方針	年1回（原則として毎年4月24日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。また、将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。



# SBI日本・アジア フィンテック株式ファンド

追加型投信／内外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI日本・アジアフィンテック株式ファンド」は、2021年4月26日に第4期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

## SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。  
<http://www.sbiasset.com/jp/>

## ○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配 金	騰 落 中 率		
(設 定 日) 2017年 4 月27日	円 10,000		円 —	% —	% —	百万円 1,429
1 期(2018年 4 月24日)	13,306		0	33.1	94.4	2,946
2 期(2019年 4 月24日)	13,725		0	3.1	92.8	6,535
3 期(2020年 4 月24日)	12,446		0	△ 9.3	93.9	2,800
4 期(2021年 4 月26日)	22,660		0	82.1	96.6	2,849

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。

(注3) 当ファンドは、主として、日本を含むアジアの金融商品取引所に上場しているフィンテック関連分野での高い成長が見込まれる企業の株式等 (DR: 預託証券を含みます。) に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

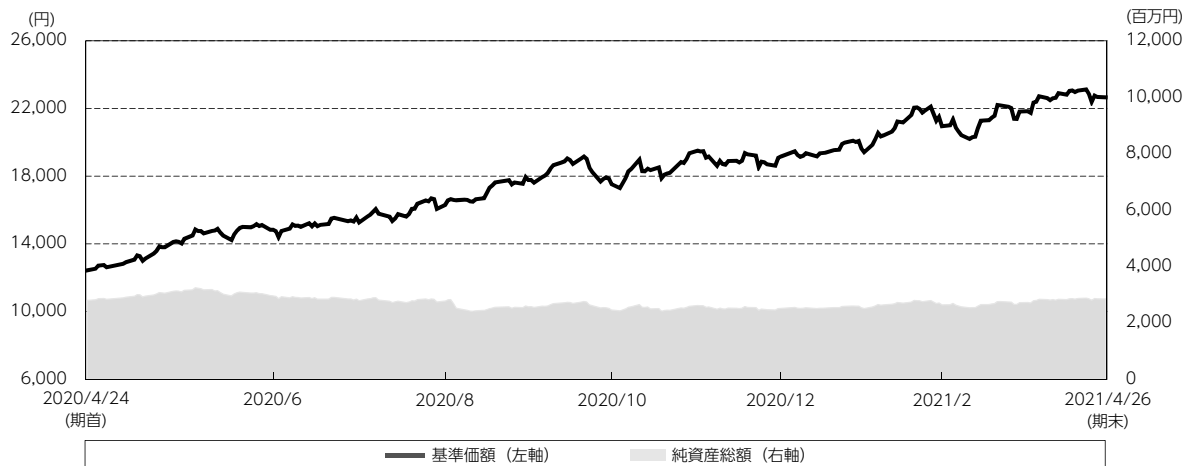
年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2020年 4 月24日	円		%	%
	12,446		—	93.9
4 月末	12,757		2.5	94.1
5 月末	14,300		14.9	96.2
6 月末	14,834		19.2	99.2
7 月末	15,266		22.7	97.2
8 月末	16,309		31.0	97.6
9 月末	17,771		42.8	97.4
10 月末	17,531		40.9	98.2
11 月末	19,510		56.8	98.1
12 月末	19,162		54.0	97.2
2021年 1 月末	19,422		56.1	98.8
2 月末	20,958		68.4	99.0
3 月末	22,355		79.6	97.2
(期 末) 2021年 4 月26日	22,660		82.1	96.6

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、主として、日本を含むアジアの金融商品取引所に上場しているフィンテック関連分野での高い成長が見込まれる企業の株式等 (DR: 預託証券を含みます。) に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

## ■当期の運用状況と今後の運用方針（2020年4月25日から2021年4月26日まで）

### ○基準価額等の推移



期 首：12,446円

期 末：22,660円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率：82.1%（分配金再投資ベース）

(注1) 当ファンドは、主として、日本を含むアジアの金融商品取引所に上場しているフィンテック関連分野での高い成長が見込まれる企業の株式等（DR：預託証券を含みます。）に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、期初12,446円を期中最安値として上昇しました。期の前半は、新型コロナウイルスの感染再拡大などへの警戒感からTOPIXが一進一退で推移する一方、フィンテック関連銘柄が多く含まれる情報・通信業や新興株が堅調に推移したことから、当ファンドの基準価額は大きく上昇しました。期の後半は、中小型グロース銘柄の上昇が一服したことから当ファンドの基準価額も10月から1月にかけて上値が重くなりました。しかし、2月以降は暗号資産（仮想通貨）市場が騰勢を強めたことを受け、業績拡大期待を背景に組入銘柄の株価が大きく上昇したことから、当ファンドの基準価額も上昇しました。4月に入っても銘柄選択効果などから一段と上昇し、4月19日に期中最高値となる23,121円を付けました。期末にかけても高水準を維持し、決算日である4月26日の基準価額は、22,660円となりました。個別銘柄では、ラクーンホールディングスやセレス、ソフトバンクグループなどが寄与度上位となった一方、アリババ・グループ・ホールディングやパワーソリューションズなどが寄与度下位になりました。

## ○投資環境

---

※以下のコメントの内容は、モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社からのコメントを基にSBIアセットマネジメントが編集したものです。

期間中の日本やアジアの株式市場は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の煽りを受けたものの、総じて堅調でした。2020年5月、日本の緊急事態宣言解除が国内株を押し上げた一方、香港への国家安全法の導入決定が中国株の重しとなりました。その後は国内外の新型コロナ感染再拡大を警戒する動きが続きました。8月末に安倍晋三前首相の辞意が伝わりましたが、安倍内閣の流れをくむ菅義偉首相の新内閣が発足し、日本株は底堅く推移しました。11月の米大統領選挙で民主党のバイデン候補が勝利し大規模経済対策への期待が強まると、日経平均株価は急騰しバブル崩壊後の最高値を更新しました。年末には英国で新型コロナワクチン接種が始まり、リスクオンが持続しました。2021年1月、米連邦議会議事堂への暴徒乱入が嫌気されたものの、バイデン政権への期待が株式相場を支えました。ただ、米長期金利の急伸や新興国での新型コロナ感染拡大が警戒され、4月末にかけては上値が重く推移しました。

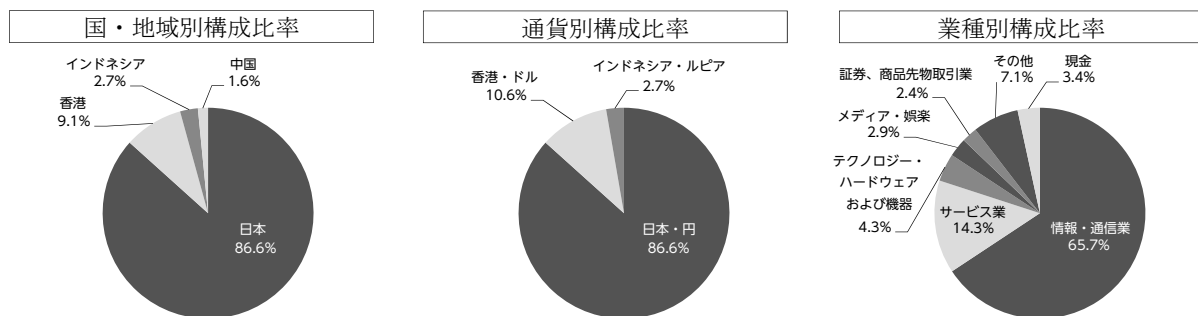
フィンテック業界では、新型コロナウイルスの感染拡大が社会の変革を促す中、業務効率化および省人化に寄与するDX（デジタルトランスフォーメーション）やRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）、Withコロナやポストコロナで中・長期の成長が期待できる分野に引き続き関心が集まりました。一方、アリババ集団傘下の金融会社アント・グループが新規株式上場の延期に追い込まれるなど、中国当局のフィンテック企業への介入が警戒されました。暗号資産（仮想通貨）業界では、ビットコインが史上初めて1ビットコイン（BTC）＝700万円台にのせるなど、暗号資産市場は活況となりました。また、カナダなどでは暗号資産ETF（上場投資信託）が承認され、暗号資産が投資商品の対象としての地位を向上させました。中国がステーブルコインの開発を一歩リードする中、実用化への動きが世界的に加速する流れにあります。さらに、暗号資産市場が高騰したことで、NFT（非代替性トークン）やSTO（セキュリティトークンオファリング）への関心も高まっています。

## ○当ファンドのポートフォリオ

主として、日本を含むアジアの金融商品取引所に上場しているフィンテック関連分野での高い成長が見込まれる企業の株式等（DR：預託証券を含みます。）に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。また、アジア（日本を除く）の金融商品取引所に上場する株式への投資は、原則として信託財産の純資産総額の30%を上限とし、運用いたしました。

また、投資対象銘柄の選定については、モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社による投資助言を活用し、運用を行いました。

なお、決算日時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。



※国・地域別構成比率及び通貨別構成比率は、いずれも組入株式評価額に対する割合です。

※業種別構成比率は、純資産総額に対する割合です。

※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

※国・地域は投資国または発行国を表示しているため、主要取引所国とは一致しない場合があります。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として、日本を含むアジアの金融商品取引所に上場しているフィンテック関連分野での高い成長が見込まれる企業の株式等（DR：預託証券を含みます。）に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

## ○分配金

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 4 期
	2020年4月25日～ 2021年4月26日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	12,660

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の見通しと運用方針

引き続き、主として、日本を含むアジアの金融商品取引所に上場しているフィンテック関連分野での高い成長が見込まれる企業の株式等(DR:預託証券を含みます。)に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

なお、投資助言を行っているモーニングスター・アセット・マネジメント株式会社では、以下のようにコメントをしています。

新型コロナ感染拡大の影響で人々の生活が変化中、DX化やクラウド化、ビッグデータの活用などフィンテック業界の活況は続くと考えられ、引き続き関連銘柄への注目は高いと考えています。暗号資産市場の騰勢を受け、グローバルでは暗号資産が投資対象としての地位を向上させており、暗号資産関連への投資は加速しそうです。さらに、CBDC発行が現実化する中、暗号資産のベースとなるブロックチェーン技術をベースとした企業には引き続き注目していきたいと考えています。

アジア株については、高いモバイル利用率を背景にキャッシュレス化の流れがさらに拡大すると見ており、フィンテック業界は今後も高い成長が期待できます。好業績銘柄を中心に銘柄の入れ替えや追加を行ってまいります。また、DXに関する新しい技術を積極的に取り入れ、変化に対応できる企業や、新興企業を継続的にウォッチし、銘柄の厳選に注力してまいります。

# ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年4月25日～2021年4月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	317 ( 155 ) ( 155 )  ( 7 )	1.812 (0.885) (0.885)  (0.042)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料  ( 株 式 )	17  ( 17 )	0.096  (0.096)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) 有価証券取引税  ( 株 式 )	2  ( 2 )	0.012  (0.012)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に 関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )  ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 ) ( そ の 他 )	14 ( 4 )  ( 3 ) ( 7 ) ( 0 )	0.078 (0.022)  (0.016) (0.040) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	350	1.998	
期中の平均基準価額は、17,514円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

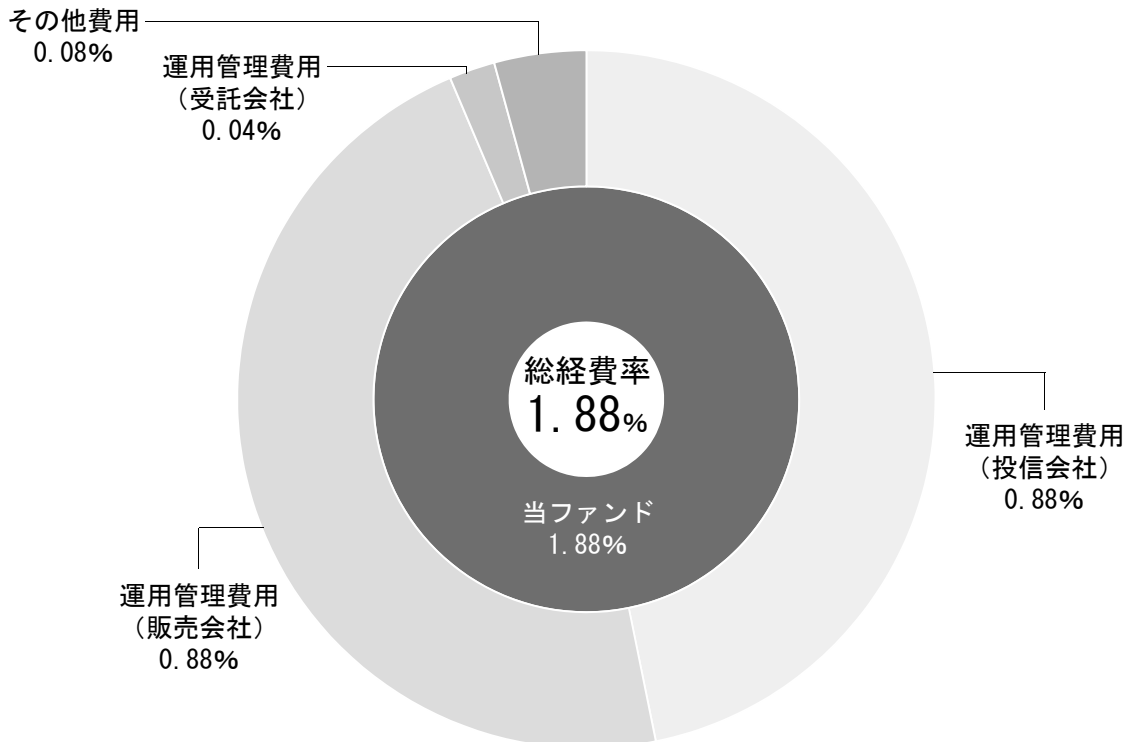
(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.88%**です。



(注1) 上記費用は、1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

(2020年4月25日～2021年4月26日)

### 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株	千円	千株	千円
		4 ( 56)	14,264 ( -)	676	1,407,097
外国	香港	百株	千香港ドル	百株	千香港ドル
	インドネシア	216 —	5,159 —	10,247 15,202	13,346 5,918,510

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2020年4月25日～2021年4月26日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,715,828千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,652,009千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.64

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年4月25日～2021年4月26日)

### 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 83	百万円 —	% —	百万円 1,631	百万円 86	% 5.3
為替直物取引	71	—	—	240	—	—

### 利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当期末保有額
株式	百万円 3	百万円 57	百万円 88

### 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	2,706千円
うち利害関係人への支払額 (B)	95千円
(B) / (A)	3.5%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは株式会社ソルクシーズ、SBIホールディングス株式会社、株式会社SBI証券です。

### ○組入資産の明細

(2021年4月26日現在)

#### 国内株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評価額
	千株	千株	千円
<b>情報・通信業(78.5%)</b>			
システナ	66.3	39.6	87,951
ラクーンホールディングス	195.4	88.3	260,396
T I S	49.2	29.2	78,256
ブレインパッド	15.9	9.4	50,478
セレス	87.6	52.1	208,660
テクマトリックス	42.9	51	109,956
GMOペイメントゲートウェイ	14.7	6.6	90,948
コムチュア	43.7	25.9	68,790
J I G - S A W	19.1	11.2	187,712
デジタル・インフォメーション・テクノロジー	54.1	32.3	70,478
L I N E	13.6	—	—
ソルクシーズ	40.7	24.2	21,780
野村総合研究所	39.7	21	69,510
S I G	37.9	22.5	17,010
パワーソリューションズ	—	3.4	7,408
A I C R O S S	2	1.8	2,979
A I i n s i d e	0.1	0.1	3,595
アイティフォー	159.1	94.6	75,017
インテリジェント ウェイブ	123.2	73.3	49,477
ソフトバンク	61.4	36.6	52,191
D T S	12.3	7.2	18,273

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評価額
	千株	千株	千円
S C S K	25.1	15	96,750
T K C	6.4	7.4	25,641
ソフトバンクグループ	36.7	21.7	219,929
<b>小売業(1.4%)</b>			
H a m e e	32.8	19.4	32,456
<b>証券・商品先物取引業(2.8%)</b>			
S B Iホールディングス	39.3	22.7	67,169
<b>保険業(0.2%)</b>			
N F Cホールディングス	1.9	1.8	3,709
<b>サービス業(17.1%)</b>			
インフォマート	138.3	61.8	63,406
イー・ガーディアン	81.3	48.4	140,360
ベイクレント・コンサルティング	8.9	3.9	120,900
ライトアップ	21.4	25.6	79,360
テクノスデータサイエンス・エンジニアリング	4.8	2.4	4,624
<b>合計</b>	<b>株数・金額</b>	<b>1,475</b>	<b>860</b>
	<b>銘柄数&lt;比率&gt;</b>	<b>31</b>	<b>31 &lt;83.7%&gt;</b>

(注1) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## 外国株式

銘柄	株数	当 期 末			業 種 等	
		株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円		
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	605	355	3,092	42,979	保険	
PAX GLOBAL TECHNOLOGY LTD	16,730	9,920	8,749	121,617	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	—	149	3,343	46,475	小売	
TENCENT HOLDINGS LTD	157	93	5,877	81,698	メディア・娯楽	
LEGEND HOLDINGS CORP-H	3,056	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小 計	株 数 ・ 金 額	20,548	10,517	21,062	292,770	
	銘柄 数 <比 率>	4	4	—	<10.3%>	
(インドネシア)			千インドネシアルピア			
BANK MANDIRI PERSERO TBK PT	13,367	8,315	5,113,725	38,352	銀行	
TELKOM INDONESIA PERSERO TBK	24,859	14,709	4,868,679	36,515	電気通信サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	38,226	23,024	9,982,404	74,868	
	銘柄 数 <比 率>	2	2	—	<2.6%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	58,774	33,541	—	367,638	
	銘柄 数 <比 率>	6	6	—	<12.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2021年4月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 2,752,817	% 95.6
コール・ローン等、その他	126,464	4.4
投資信託財産総額	2,879,281	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(369,482千円)の投資信託財産総額(2,879,281千円)に対する比率は12.8%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1香港ドル=13.90円、100インドネシアルピア=0.75円。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年4月26日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,879,281,309円
コール・ローン等	115,192,598
株 式 ( 評 価 額 )	2,752,817,165
未 収 配 当 金	11,271,546
(B) 負 債	30,274,338
未 払 解 約 金	6,120,386
未 払 信 託 報 酬	23,533,790
未 払 利 息	312
そ の 他 未 払 費 用	619,850
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	2,849,006,971
元 本	1,257,262,502
次 期 繰 越 損 益 金	1,591,744,469
(D) 受 益 権 総 口 数	1,257,262,502口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	22,660円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	2,249,968,199円
期中追加設定元本額	332,969,923円
期中一部解約元本額	1,325,675,620円

## ○損益の状況 (2020年4月25日～2021年4月26日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	28,327,077円
受 取 配 当 金	28,383,586
受 取 利 息	817
そ の 他 収 益 金	69
支 払 利 息	△ 57,395
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,132,963,486
売 買 益	1,570,641,781
売 買 損	△ 437,678,295
(C) 信 託 報 酬 等	△ 51,584,397
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	1,109,706,166
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 57,609,009
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	539,647,312
( 配 当 等 相 当 額 )	( 216,923,576)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 322,723,736)
(G) 計 算 (D + E + F)	1,591,744,469
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	1,591,744,469
追 加 信 託 差 損 益 金	539,647,312
( 配 当 等 相 当 額 )	( 216,923,576)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 322,723,736)
分 配 準 備 積 立 金	1,052,097,157

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(27,068,418円)、費用控除後の有価証券等損益額(958,924,191円)、信託約款に規定する収益調整金(539,647,312円)および分配準備積立金(66,104,548円)より分配対象収益は1,591,744,469円(10,000口当たり12,660円)ですが、当期に分配した金額はありません。